

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立南第三小学校

1. 本年度の学力・学習調査結果の概要について

- ・国語の調査では、A、B問題共に「読むこと」の領域については、良好な結果でした。A問題の「言語についての知識・理解・技能」の観点に課題がありました。
- ・算数の調査では、どの領域においても概ね良好な結果でした。A問題の「数量や図形について」の観点に課題がありました。
- ・理科の調査では、「自然現象への関心・意欲・態度」の観点が良好な結果でした。「科学的な思考・表現」の観点に課題がありました。
- ・全体を通して、学校全体で課題を共有し取り組んでいることについては成果として表れつつあると言えます。

2. 各教科における成果と課題について

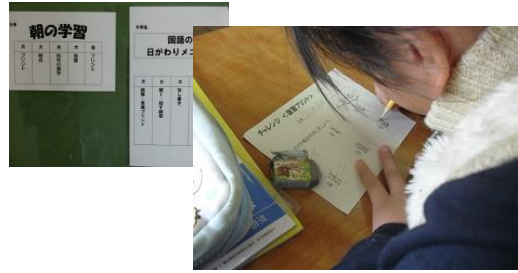
	成 果	課 題
国語 A 〈主として知識〉	<ul style="list-style-type: none"> ・「読む」能力については、概ね良好な結果でした。 ・目的に応じて必要な情報を捉えたり、登場人物の心情について情景描写を基に捉えたりすることは、できていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「言語についての知識・理解・技能」に関して慣用句を正しく使うことはできていましたが、文意を正しく捉え、適した漢字を使うことに課題がありました。漢字を形や音だけで覚えるのではなく、意味や使い方まで広く学んでいく必要があります。
国語 B 〈主として活用〉	<ul style="list-style-type: none"> ・「話す聞く」能力や、「書く」能力、「読む」能力については概ね良好な結果でした。特に「書く」、「読む」能力では、目的に応じて文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり書いたりすることができています。3行日記で毎日のことを振り返ったり、作文を書いたりすることを積み重ねることで、身につけた力だと考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意図を捉えて自分の意見と比べて考えをまとめるときに、いくつかの条件を満たしつつ書くことに課題がありました。普段の学習の中では、このように複数の条件を満たしつつ、文章を書くということに慣れていないということが原因と考えられ、その対策をとる必要があります。

<p style="text-align: center;">算数 A 〈主として知識〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無解答率については、全体的に昨年度より減っています。また、全員が解答した問題が6問から8問に増えていました。 ・2の$12 \div 0.8$で求められる問題を複数選ぶものについては、良好な結果でした。これは、式にする際の手立てとして数直線だけでなく面積図を学習させたり、選択式で複数選ぶものを単元テストで出題したりした結果と思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図形」の領域については、昨年度より下回る結果となりました。また、無解答率が0%の問題が一つもありませんでした。 ・4(2)の問題については、単位量当たりの大きさを求めるものに課題が見られました。
<p style="text-align: center;">算数 B 〈主として活用〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無解答率については、全体的に昨年度より減っています。また、全員が解答した問題数が2問から6問に増えていました。 ・4のような示された考えを解釈し、同じように考えて、言葉や式に表す問題については、教科書に出てくる様々な考え方と対応させて、それらをまねて記述するよう指導していたために、良好な結果であったと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「100枚あれば足りる理由」を示された数量で関連付け根拠を明確にして記述する問題では無解答率が高かった。その理由として、「3年のあまりのあるわり算」で1問行っていますが、その後は行っておらず、書き方が分からなかったからと思われます。 ・「数量や図形についての知識・理解」については、他の領域や観点と比べて課題が見られました。
<p style="text-align: center;">理科</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無解答率が平均1%未満と非常に低く、最後まで粘り強く問題に取り組む姿勢が見られました。 ・「自然事象への関心・意欲・態度」、「自然事象についての知識・理解」の平均正答率が概ね良好でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記述式の問題では、結論を書く問題については良好だったが、理由を書く問題については課題が見られました。今後、「なぜそうなったか」を記述したり、発表させたりする機会を多く取り入れていく必要があります。

3. 本校の学力向上に関する現在の取り組みについて



子ども主体の授業



基礎基本の学習（日替わりメニュー）



学びの足跡がわかるノート指導



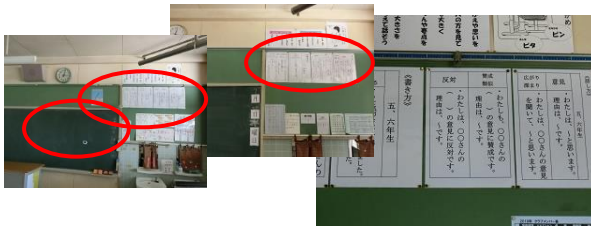
話し合い活動（ペア、グループ、全体）



ICT 機器の活用



読書活動の充実



系統性のある学びの環境づくり



家庭学習の定着に向けて

4. 今後の取組みの方向性について

1. 基礎・基本の学力向上のために

- ・基礎・基本の学力の向上のため、国語や算数の時間の最初に日替わりメニューを取り入れています。国語では、曜日によって「スピーチ」や「言葉プリント」などに取り組んでいます。算数では百ます計算やミニプリントなどに取り組んでいます。国語も算数も、本校では長年取り組んできていますが、昨年度末から今年度にかけて、本校児童の実態によりあったものになるようなものに変更し、4月から取り組んでいます。
- ・読書習慣のさらなる定着のために、朝の読書タイムやお話会やアニメーションなど、図書館司書との連携を深めながら、さらなる充実を図っていきます。
- ・1年生では、MIM（多層指導モデル）に今年度も取り組んでいます。ひらがな、カタカナの特につまづきやすい「特殊音節」に焦点を当てた指導で、定期的に成果を測定し、学習指導に役立てています。

2. 主体的で対話的な深い学びにつなげるために

- ・子どもが主体的・対話的に学ぶ授業づくりをめざして、話し合い活動を大切にしています。課題に対して自分の考えをノートに書く（個人）→ペアまたは小グループでの発表→全体での発表という流れを大切に授業を行っています。この流れは、限られた教科や学習だけで行うのではなく、様々な学習活動で取り入れています。
- ・授業の流れを始めに提示し、学習のめあてや見通し、子どもの考えやまとめ方等を取り入れ、1時間の学びの足跡がわかるような丁寧な板書にしています。
- ・教員の校内研修のテーマを「道徳性の育成」～深い学びを通して～として、学校全体で研修に取り組んでいます。道徳的価値を自分のこととして捉え、多面的にじっくり考えたり、議論したりできるような授業づくりに取り組んでいます。また、全学年で共通の道徳ファイルを活用し、授業中での学びや振り返りをいつでも見直せるようにし、繰り返し道徳的価値に触れることができるようにしています。

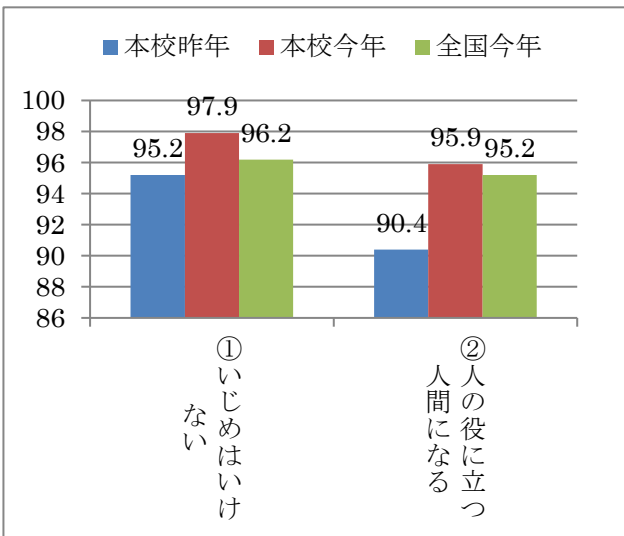
3. よりよい学習環境づくりのために

- ・すべてのクラスに、学年に応じた共通の発表の手立てとなる「話し方」「聴き方」などを、場所を決めて掲示し、子どもたちが安心して学べる教室環境づくりを行っています。
- ・昨年度まで、家庭訪問時に配布していた「家庭学習のすすめ」を年間3回配布し、家庭での学習習慣の定着につなげていきたいと考えています。
- ・低学年を中心に、「さやまっこティーチャー」の活用を行い、すべての子どもの確かな学力の定着を図っています。また、様々な専門的な知識をお持ちの地域の人材を活用しています。

生徒質問紙による学習状況調査結果の概要

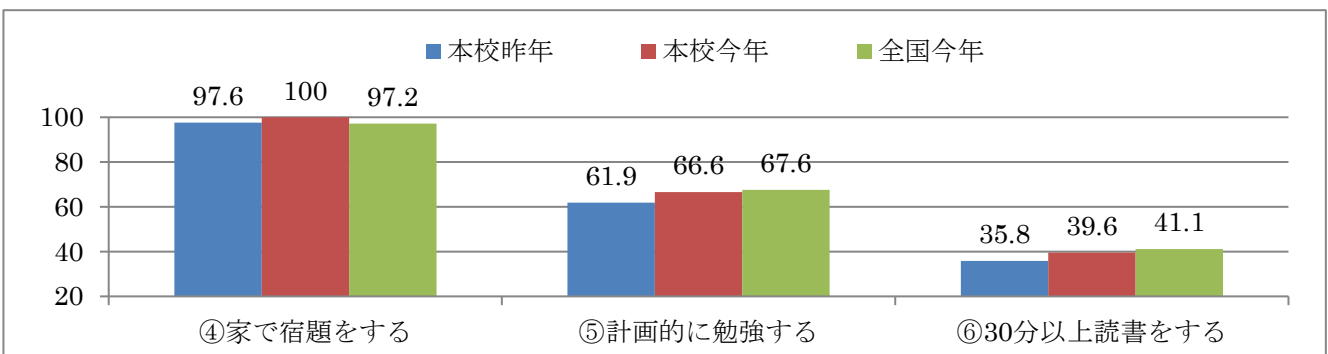
1. 取組みの成果があらわれていたり、特徴的であると思われる事項について

1. 道徳性の向上



左のグラフは「①いじめは、どんな理由があってもいけない」、「②人の役に立つ人間になりたい」という項目に対する、「あてはまる、ややあてはまる」など肯定的回答の割合です。昨年と比べて、肯定的回答の割合が増加しており、全国平均を上回っています。また、③「学校のきまりを守っている」児童の割合も95.8%あり、全国平均を上回っています。これは、本校が重点的に取り組んできた道徳教育の成果だと考えています。今後も取組みを継続していきます。

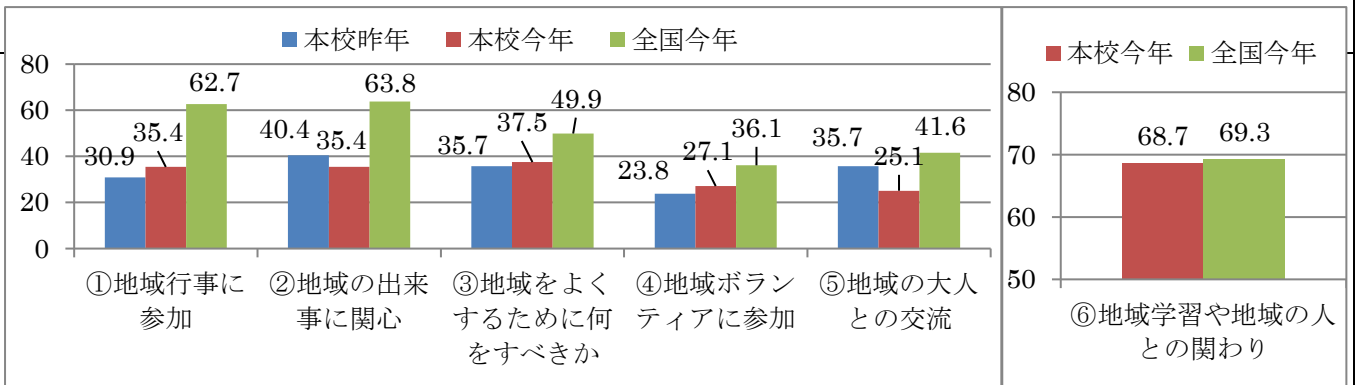
2. 学習習慣の確立



上のグラフは、「④家で、学校の宿題をする」「⑤家で、自分で計画を立てて勉強をしている」という項目に対する肯定的な回答の割合を示したもので、グラフ⑥は「学校の授業以外に、普段、一日に30分以上読書をしている」児童の割合を示したものです。いずれも前年度の数字を上回っており、全国平均とも遜色ない程度まで改善されました。学習習慣や読書習慣が定着してきたと考えられます。また、従来より課題であった、自ら計画を立てて学習に取り組むことに関しても、少しずつですが改善している様子がうかがえます。これは、家庭学習の定着をめざして、担任が個々の進捗状況を把握し、アドバイスをしながら取り組んでいる「自学自習ノート」の活用が一定の成果を上げているからだと思えます。また、朝読書や読み聞かせ、あるいは図書館司書と連携しながら進めている取り組みや各ご家庭での意識向上が成果として表れつつあると考えています。

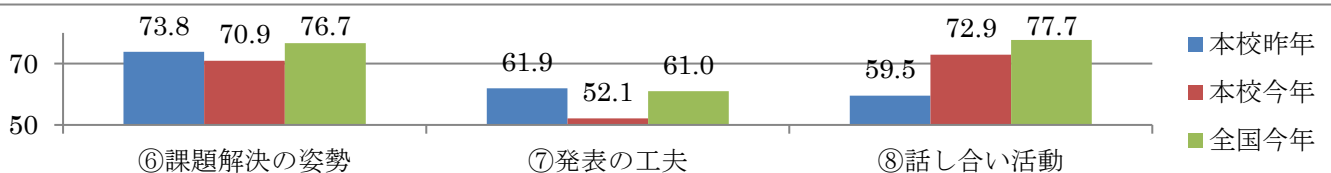
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

1. 地域との関わりや社会性について



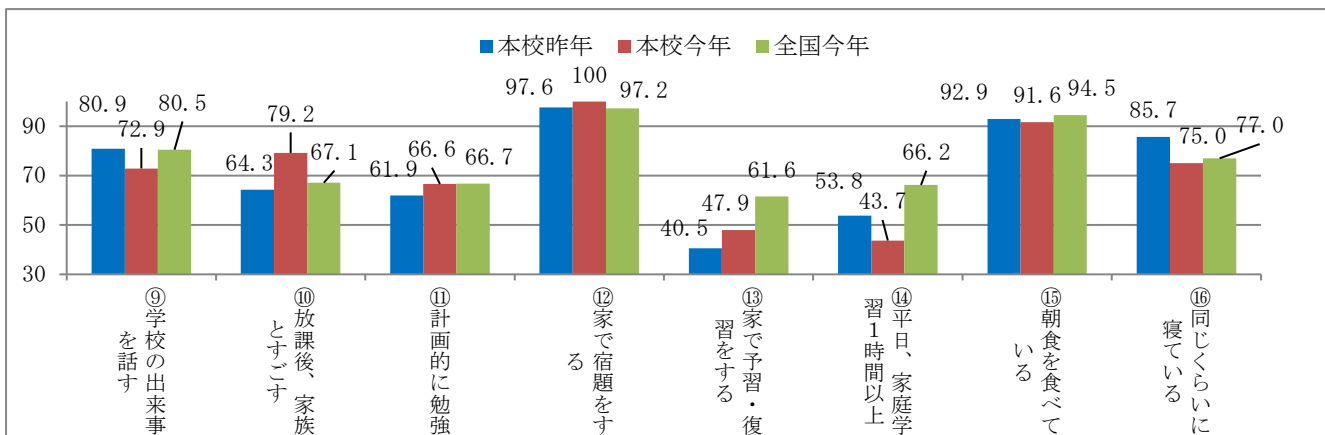
グラフ①～⑤は、「①今住んでいる地域の行事に参加しているか」「②地域や社会で起きている問題や出来事に関心があるか」「③地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか」「④地域社会などでボランティア活動に参加したことがあるか」「⑤地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがあるか」に対する肯定的な回答をした児童の割合を示しています。これによれば、本校児童は地域とのつながりが弱く、社会のことを考え、社会に貢献しようという意識も希薄なように思います。ただ、グラフ⑥は「5年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったか」に対する肯定的回答の割合ですが、この結果からもわかるように、本校は、児童が地域学習をしたり、地域の皆さんと交流する機会を計画的に設けています。にも関わらず、グラフ①～⑤のような結果になっているということは、学習したことや体験したことが、普段の生活につながっていないと考えられます。この現状を意識し、日々活動に取り組むとともに、活動内容の検証に努め、地域や社会に対する関心を持ち、地域や社会に貢献できる児童の育成につながるような方策を工夫する必要があります。

2. 授業に関して



上のグラフは、「⑥課題に対し、自ら考え、自分から取り組むか」「⑦自分の考えを発表するとき、工夫しているか」「⑧話し合い活動で、自分の考えを深めているか」における肯定的な回答の割合を示しています。これによれば、本校児童は、「主体的に課題に取り組む姿勢、友達の意見を聞き、自分の考えを整理し深めること、自分の考えを伝えるため工夫する力」に課題があることが分かります。日常活動に、主体的、対話的で深い学びの場面を取り入れてはいるものの、更によりよい発表の方法や、友達の考えを自分の考えにつなげていく方策を検討し、取り組んでいきます。また、数学・理科の両教科とも、「教科の勉強が大切」「学習したことが、将来、社会に出たときに役に立つ」と考える児童の割合が、全国平均を下回っていること、前述した社会問題や社会貢献への関心の希薄さも考えると、勉強すること・学ぶことの意味についてもしっかりと子どもたちに伝え、考えさせ、学習意欲につなげていく必要性があります。

3. 生活習慣・学習習慣に関して



家の人に、学校の出来事を話す児童が 72.9% (グラフ⑨)、放課後、家族と過ごす児童が 79.2% (グラフ⑩) おり、家族との関係は概ね良好です。家庭学習では、計画的に勉強すると答えた児童が 66.6% (グラフ⑪)、宿題をきちんとする児童が 100% (グラフ⑫) おり、いずれも昨年より高い値を示しています。家庭学習の意識は十分にあります。しかし、予習や復習をしている (グラフ⑬)、実際に家庭学習を1時間以上やっている (グラフ⑭) 児童の割合は全国平均を大きく下回っています。学習に対して主体的に取り組む意識は不十分で、「決められたこと、やらないといけないこと」はするという受け身の児童が多くいます。また、「早寝・早起き・朝ご飯」に関する課題 (グラフ⑮, ⑯) もあります。平日、夜遅くまで、ゲーム、スマートフォン、インターネット利用などで、起床時間や朝食に影響を及ぼし、生活習慣が損なわれるという悪循環に陥っている児童もいると考えられます。また、平日の授業以外の勉強時間(塾や家庭教師を除く)が、30分以下という児童が 35.5%(全国平均 21.4%)もおり、学力の二極化も懸念されています。

6. 保護者・児童のみなさんへ

〈児童の皆さんへ〉

皆さんは、宿題や授業中の学習に取り組む態度、清掃活動への参加、あいさつなど、基本的なやるべきことはきちんとできています。また、友達の話や意見なども最後まで聞くことができ、下級生の面倒もよく見るなど、学校の仲間を大切にしています。

これまでと同じように、しなければならないことはきちんとした上で、今後は宿題以外の家庭学習を計画的に進め、予習・復習などの準備を十分に授業にのぞむようところがけよう。また、より安心で、安全な学校・学年・クラスづくりのために、一人ひとりが責任と思いやりの気持ちをもって、「本気」を出してがんばろう。

〈保護者の皆さまへ〉

本校の子どもたちの多くは、将来の夢や希望を持っており、自らやるべきことに、真面目に取り組むことができます。これはご家庭で、お子さまの頑張りを認め、ほめて育てていただいている表れだと思います。

今後、子どもたちが授業により前向きに参加するために、家庭学習が宿題のみにとどまらず、自分の将来を見据えて、計画的に学習する習慣をつけるよう、ご指導ください。また、ご家族で会話する時間を大切にし、「早寝、早起き、朝ごはん」といった規則正しい生活にもご留意いただき、子どもたちの心身共に健康でたくましい成長を支援していただきますようご協力よろしくお願ひします。